

第13回 閉塾式

[日 時] 令和元年12月14日（土）18:30～20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館3階学生ホール

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』8-8号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●塾長挨拶（木村塾長）

第8期閉塾式を迎え、今年度の『耕人塾』のコンセプトは「主体・楽しさ・創造」であることを確認するとともに、塾生一人一人が新しいことに挑戦して頑張ってきたことを激励しました。塾長としても、自宅周辺のゴミを1万個拾うことを「主体」と捉え、1年間で拾ったゴミは11月末で10,870個になり、目標を達成することができたことや50冊の本を読むことを「楽しさ」と捉えるなど、新たな挑戦をしてきたことを塾生に伝えました。



『耕人塾』のコンセプト「主体・楽しさ・創造」に向けて、塾長として実践してきたことを真剣に聞いている塾生たち

●本日の流れについて（斎藤誠太郎 教学委員）

塾生が取り組んできた成果を発表するときのポイントを説明しました。

<発表のポイント>

- 明るい表情かつ、大きな声で！
- できるだけ前を向いて話そう
- 早口になりすぎず、ゆっくりと！

●目標に対する成果の発表【35分】

塾生一人一人がどんな自分になりたいか、地域のためにどんなアクションが可能なのかを「プロジェクトI」としてまとめました。

そこで、自分の目標に対する成果の発表として、「ゴミ拾いの実践を通して学んだこと」「防災に向けた取組」「世界に誇れる石巻地域について考えていること」「私としての生き方」など、塾生一人一人が工夫して発表しました。

発表は、スライド、写真、動画、レポートなど自由に発表しました。発表を聞いている塾生は、感想メモシートに付箋紙を貼りながら、話し合いの参考にしました。



ゴミ拾いの実践を通して学んだことを、パワーポイントで発表する塾生



台風被害に遭った方々への募金に対する取組を紙芝居にしてプレゼンする塾生



災害時に役立つ「災害用トイレ」や「マスク」などの作り方を説明する塾生



“時間にルーズな自分を変える”と題して、生活リズムの在り方を説明する塾生



学んでいるフィジー共和国の高校の様子を伝え、実践してきたことを説明する塾生

◎グループごとに、塾生の発表を聞きながら、更によりよい解決策を提言するなど充実した発表になりました。また、塾生だけでなく教学委員も自ら実践したことを塾生に披露しました。





●振り返り【15分】

耕人塾で学んだことや2020年に自分がやってみたいことなどを「耕人塾プロジェクトI 振り返りシート」にまとめました。



●修了証授与



●記念撮影



塾長を囲み、誇らしげに修了証を手に入れている塾生たち

●閉会の挨拶（横江運営委員長）

塾生が取り組んできた「プロジェクト（であい・ふれあい・かかわりあい）」にもう一つの“語りあい”を組み合わせた“4つのあい”を来年度の取組に活かしてほしいことを塾生に伝えました。語り合う仲間は、社会の仕組みを考えれば、同年齢だけで成立することはなく、異年齢集団の“かかわりあい”が重要になります。つまり、伝える力としての“語りあい”と“かかわりあい”のできる人間力を高めることが大切だということをお話して激励しました。

修了証をいただいたこときっかけに、耕人塾で共に磨き合った仲間としてのプライドを大切に、一層たくましく生きてほしいことを話して締めくくりました。

メニュー

ホーム	▼
耕人塾の活動	▼
令和2年度の活動	>
令和元年度の活動	▼
第13回 「耕人塾」第8期 閉塾式	
第12回	
第11回	
第10回	
第9回 実践活動	
第7・8回 宿泊研修	
第6回 実践活動	
第5回	
第4回 実践活動	
第3回	
第2回	
第1回 開塾式	
平成30年度の活動	>
平成29年度の活動	>

平成28年度の活動

平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞